



# サフラン便り

第18号 17年12月15日発行

発行: 佐賀県女性薬剤師会

佐賀市本庄町大字本庄 1269-1

TEL: 0952-23-8931

FAX: 0952-23-8941

<http://www8.ocn.ne.jp/saffron>

## 薬剤師の為の救急蘇生法・応急手当法修得セミナー

### MEDIC First Aid BASIC コース

開催日時: 12月4日(日) 9:30~17:30 於: 県薬2階研修ホール 参加者: 22名

- 内容:
- ・ イントロダクション・ケアサークルの概念・SETUPとバリア・意識レベルの評価
  - ・ 気道の評価・呼吸の評価・循環の評価・気道から舌を引き離す
  - ・ 口の中の固形物、液体の除去・気道を保護する回復体位・換気・レスキュー呼吸
  - ・ 胸部圧迫・救助者1名のCPR【心肺蘇生法】・突然死と蘇生の連鎖・評価の継続
  - ・ 病気の警告兆候・ケガのメカニズム・緊急移動・応急手当に伴う精神的インパクト

(アンケートから)

- ・ 応急救護の知識がわずかしかなかったのが、今回の講習はとても役に立ちそう。実習も多かったのが実際現場に出くわした時、勇気を持って手助けが出来ればと思います。
- ・ 非常に有意義なセミナーでした。我々が一番乗りで参加できたことを誇りに持ちたいです。薬剤師会全員にも広めていきたい。
- ・ 以前から関心はあったが、その様な場面に出会っても身体の方が動かないだろうと思っていた。今回の講習で少しは動けるような気がする。時々復習して忘れないようにと思います。
- ・ 内容は実生活に有効で常に危機意識を持つことで生命維持に繋がる事を実感した。それには、必要最小限の感染予防具の携帯が必要不可欠だと実感しました。
- ・ 「気道が確保されなければ人は生きられない」改めて気道のチェックの大切さを思いました。自分自身があわてないこと、グローブをすることは気持ちを落ち着かせる役目になりました。
- ・ 以前からこの講習を受けたいと思っていたが実現でき良かった。マシンの使い実習用品を使い具体的にやってみることでいざと言う時に一歩踏み出る自信がついた。全ての薬剤師が受けておくべきではないかと思った。
- ・ 目からうろこが落ちた感じがした。耳からの説明を画像で確認、身体で実践することで理解し易かった。マシンの行ったことを体感しての体感で少しでも役立つと思う。
- ・ 12歳以上の人は、講習を受ける事ができるので、多くの子供たちに受けさせたいと思った。1回だけの訓練を受けっぱなしにせず、時々自分で確認していきたい。
- ・ 助けを求めている人を見過ごす事はできないと思っていた。その時の心構え、必要なこと、特に1人でしないで多くの人々の援助のもとで、自分にできることをして、次の専門家、より高い技術を持った人に渡すまで私が何をやるか出来るかを学びました。
- ・ 医療人でありながら、今まで救急の場面にどう対応してよいか分からなかった。受講してすぐできるかどうか不安はあるが、どのようにすれば良いかが少し分かった。人を助ける医療人の1人として有効に活用していきたい。薬剤師は誰でも知っておかなければならないと思った。
- ・ 講習を受けて自分に何が出来るかがおぼろげに理解できた。目の前に倒れている人に何かをしてあげたいと思っても知識がないと何もできないし、自己判断で手当てをしても逆効果になることも知りました。自分の能力を見極めて最小限のことはやるという気持ちが大切だと思った。勇気を持って無理をせず勉強して行きたい。
- ・ TV等でなんとなく分かっていたような気がしていたが、今日の内容で自信がついた。実際の現場で何が出来るか分かりませんが、早期連絡・連携を忘れないようにしたい。
- ・ ポイントを絞って区切りながらの講習は時間を感じさせない有意義なものだった。中途半端な知識や誤解が多かった事を実感した。今度必要な場面に遭遇した時、一歩踏み出せるかは不安ですが7時間前とは、明らかに違っていることを確信した。



MEDIC FIRST AID は救急医療の先進国アメリカで開発され WSO 世界安全機構公認プログラムとして 140ヶ国で 8000名のインストラクターにより年間 50万名の方々に修了カードを発行しています。医療従事者として、薬剤師・薬学生なら、受講必須の内容です。

<http://www.emp-japan.co.jp/>

## < 症例報告依頼 >

女性薬では皆様の症例収集を行っています。開局薬局は処方内容が偏ることが多いのでいろんな症例を共有したいと思います。報告していただいた内容は皆様に還元する予定にしています。小さなことでも新鮮に思えることも多いかと思えます。記載方法は自由です。(徳淵)

(症例) 1歳9ヶ月 男児 (広域処方箋)  
Rp.  $\bar{\Delta}$  リアゲツシロップ 6ml 3×毎食後 4日分

プリピナ 2ml  
生食 3ml } Mix 寝る前両鼻腔 1滴ずつ

プリピナを使用した翌日にTELあり。朝は起きずにずっと眠り続け無理やり起こして昼食をあげたが、また眠ってしまい心配になってTELしたとのこと。2歳未満の乳幼児・小児は作用が強く現れショックを起こすので禁忌となっているが、こちらの認識不足でそのまま投薬した。TEL後すぐに文献を調べ使用中止を伝えた。休日だった為処方医とは連絡が取れなかった。

$\bar{\Delta}$  リアゲツシロップによる眠気も考えられるが、4日前にも同量の $\bar{\Delta}$  リアゲツシロップが処方されておりその時は眠気の訴えはなかった。プリピナの使用によるものと考えられる。それを後で処方医に直接伝えるように説明する。容器は目薬としても使える5ml入りの滴下型タイプ

< 挑戦してみませんか? > 第90回薬剤師国家試験問題から

(過敏性腸症候群とその治療に関する問題)

過敏性腸症候群に関する記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- 便潜血反応が陽性を示すことが判断基準の1つである。
- 腹痛と便通異常を慢性的に繰り返す。
- 心理・社会的ストレスが症状を増悪させることがある。
- 消化管運動の過剰亢進には、抗コリン薬が有効である。
- サゾサルファピリジン(サルファサジン)が治療に用いられる。

1 ( a, b, d ) 2 ( a, b, e ) 3 ( a, c, e ) 4 ( b, c, d ) 5 ( c, d, e )

(Point) 炎症性腸疾患 (IBD: 加ノ病と潰瘍性大腸炎) と過敏性腸症候群 (IBS) との区別はしっかりしておく。

IBD は免疫系の関与する疾患でイリキマブ (抗 TNF 抗体) サゾピリジン、サゾサルファピリジン、ステロイド 剤が使用される。IBS はストレスなどの心因性の要素が大きな役割を果たし、ベンゾジアゼピン系薬物、三環系抗うつ薬、スルピリド等が用いられる。また、下痢や便秘にはポリカルブニルカルシウム、臭化マグネシウム等が用いられる。



(消化性潰瘍と薬物治療に関する問題。より現場に即した知識を要求している)

消化性潰瘍とその治療薬に関する記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- 非ステロイド性抗炎症薬 (NSAID) の長期投与時に見られる潰瘍に対してミソプロストールは用いられない。
- 十二指腸潰瘍患者では、胃潰瘍患者よりも胃酸分泌が亢進していることが多い。
- 血液透析中の患者では、アルミニウムを含む制酸剤を投与すべきではない。
- オメプラールの標準的用法は、1日1回投与である。
- シメチドは、腎不全患者でも減量の必要はない。

1 ( a, b, c ) 2 ( a, b, e ) 3 ( a, d, e ) 4 ( b, c, d ) 5 ( c, d, e )

(Point) ・十二指腸潰瘍患者は、胃酸分泌抑制薬がよく奏功するが、これは胃潰瘍患者よりも胃酸分泌が亢進していることによる。H<sub>2</sub> blocker はいずれも腎排泄型薬物であるから、腎不全患者では減量しなければならない。

(ちょっと一言)

今、NHK海外ドラマにはまっています。環境を異とする妻たちの家庭内や社会で起こる問題をコミカルに集約して描いたとても痛々な番組です。ドラマ中の荒唐無稽な事件も、現代社会ではあながちないとは言えません。まさかと思われる事象も本人の成長の為の試練だと教えられます。煮え湯を飲んでも得た知恵は一生モノになってくれるでしょうか？

それは、あなた次第です。(島田)

解答: - 4 - 4

## 【お知らせ】

平成18年度の診療ガイドライン薬剤コースの募集が始まりました。募集期間は3月3日(金)までになっていますが、佐賀県で取りまとめる時間をいただきたく2月末にしたいと思えます。

また、来年度からは薬剤コースの運営に「日本薬剤師会」の後援いただくようになりました。

日薬会長名で後援名義使用の承諾をいただきましたことは、嬉しい限りです。

女性に限らず基礎から疾患と薬剤を学ぼうと思われる方は是非申し込みをお願いします。